



### 新型コロナウイルス感染症対策等 について問う

今野 郷士 議員



**質問** 小・中学校の児童・生徒の感染者が急増しているが、抗原検査、PCR検査を全ての児童・生徒に行う考えがあるのか伺います。

**答** 本市では、全ての児童・生徒及び園児に1人1回分の抗原検査キットを配布する準備を進めています。抗原検査は一定以上の

ウイルス量が必要なことから、無症状者に対するスクリーニング検査には適さないことなどを考慮し、

関係機関と調整の結果、発熱などの症状があり、感染が心配される場合に必要に応じて使用していただくことにしました。

**質問** 新型コロナウイルス

に感染した方が入院できる本市の病院の病床数について、入院が必要になる中等症以上の患者数が、その病床数を上回った場合は、どのような対応をするのか伺います。

**答** 感染者の入院調整は群馬県の病院間調整センターにおいて、入院可能な空き病床を把握し、広域的に調整を行っています。基本的には、患者の居住地から近くの病院で調整していますが、例えば、感染者が子

どもの場合には、小児科のある病院への調整など、病状や診療科目により、感染者に適した病床を効果的に調整していますので、市内の病院が満床であっても、入院ができなくなることはありません。

**質問** 毎日、陽性者の総数が発表されているが、検査の総数は、なぜ、発表しないのか伺います。

**答** 検査については、市町村はデータを把握していませんが、群馬県のホーム

ページに検査数と陽性者数が公表されております。**要望** 自分の住んでいる地域の毎日の検査数を知りたい方が多くいると思います。市民の安心につながることから、情報開示することを要望とします。



痛感しています。

**質問** 市長の選挙公約に「2029年群馬国体のレ

スリング及びボート競技会場を誘致します」とあるが、いつ頃までに、どこに、どのようなアクションを行なえば誘致できるのか、考えを伺います。

**答** 誘致に向けては、競技団体の意向を踏まえて、県や大会関係者と調整を図り、両競技が開催できるように進めていきたいと考えています。



### 本市におけるスポーツ振興について

森田 武雄 議員



**質問** 過去に開催した全国規模の大会と、その成果や課題について伺います。

**答** 主にレスリング競技とボート競技が実施されました。レスリング競技は昭和44年に全国高校総体が市民体育館にて、昭和58年にあかぎ国体が城沼総合体育館にて実施され、ボート競

技では平成26年に第7回国マスターズレガッタが城沼にて開催されました。課題としては、城沼総合体育館については空調設備やサブアリーナがないこと、バリアフリー化やエレベーターの設置などがあります。城沼については水深が浅いため、全国規模の大会を

実施するためには、水深の改善が必要となります。

**質問** 2029年に本県で開催予定の第83回国民スポーツ大会における本市の関

わりについて伺います。

**答** 市町村競技会の開催意向調査において、レスリング競技とボート競技の調査書を提出しています。

**質問** 県として既に会場地

が決定している競技は、いくつかあるのか伺います。

**答** 第1次選定において9市町、12競技が内定して

います。また、未選定競技は26競技あります。

**質問** 市長の選挙公約「館

林からアスリートを目指すスポーツ環境の整備を進めます」の中に「多様なスポーツの公式競技仕様の施設を整備します」とあるが、本市のスポーツ施設の現状と課題について伺います。

**答** 本市のスポーツ施設の多くは老朽化が著しく、今後の維持管理が大きな課題です。特に施設の更新、長寿命化は大命題であると